

## 市章



漁川・島松川の2つの川の流域に位置する恵み豊かな地域を表し、  
組み合わせられた輪郭の線は、2つの流れをかたどっています。

また、2つの輪は「庭」に通ずるところから、  
中心の「恵」とともに市名を表しています。

(昭和36年9月1日制定)

## 恵庭市民憲章

(昭和45年11月19日制定)

わたくしたちは、恵庭岳のそびえる、恵庭の市民です。  
わたくしたちは、漁と島松の川に広がるこの地に父祖の労苦をしのび、  
かおりたかい鈴らんにたがいの幸せをねがい、  
みんなの力でこのまちを発展させるため、  
ここに市民憲章をさだめます。

- 自分の仕事を愛し、じょうぶなからだで働きましょう
- たがいに尊重しあい、なごやかな家庭をつくりましょう
- 自然を愛し、緑の美しいまちをつくりましょう
- きまりをまもり、住みよいまちをつくりましょう
- 知性をたかめ、かおりゆたかな文化のまちをつくりましょう



## 花と緑あふれるガーデンシティを推進します

恵庭市は、道都札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置する、交通アクセスや豊富な水資源に恵まれた、利便性がよく自然豊かなまちです。また人口は、令和元年には7万人を超え、人口減少社会にあつて、道内でも数少ない人口が増え続けている可能性に満ちたまちです。

その優れた地理的条件や環境の良さから市内産業も着実に発展しており、新しく造成した工業団地についてもすぐに企業の進出が決まりました。

まちには、サケの遡上が見られる「漁川」や、多くの観光客が訪れる「恵庭溪谷」などがあり、豊かな自然環境とともに、全国的に知られる「花のまち」としてガーデニングや花苗の生産が盛んです。

こうした花のまちづくりは年とともに拡大発展し、「都市景観大賞」や「緑の都市賞」をはじめ数々の受賞を重ねながら「花のまち恵庭」の名が全国レベルに達しています。こうした取り組みが、令和4年に恵庭市の花の拠点「はなふる」をメイン会場とする「ガーデンフェスタ北海道2022」の開催につながりました。

ガーデンシティを形づくる良好な住宅環境とそこに暮らす市民は、花の活動をはじめ、さまざまな地域活動や市民活動を通して、まちに活力と元気をもたらしています。

「ガーデンフェスタ北海道2022」は花のまち恵庭の集大成とも言えますが、同時に将来への序章でもあります。これをスタートと考え、より住み良いまち、暮らしやすいまちへと飛躍すべく、これからのまちづくりを進めていきます。

この市勢要覧は、「住みよいまち」恵庭の魅力や、総合計画の目標に沿って紹介しています。本市への理解を深めていただき、さまざまな形で関わりを持っていただければ幸いです。



恵庭市長 原田 裕  
Yutaka Harada

## インターネットを活用した「開かれた議会」



市民の代表として選ばれた市議会議員が集まり、市の仕事について議論、決定する市議会が、仕事を実際に進める執行機関とともに「市政の両輪」をなす重要な議決機関です。条例の制定・改廃、予算の決定、決算の認定など、市政の重要事項について議決します。また、選挙、調査、意見書の提出などを通じて、市民の声を市政に反映させていきます。

恵庭市議会の議員定数は、現在21人。任期は4年です。本会議のほかに、付託された案件などを審査する常任委員会や特別委員会を設置しています。

常任委員会は令和4年4月1日現在、総務文教、厚生消防、経済建設の3委員会があり、特別委員会は予算審査、決算審査、補正予算審査、基地、柏陽・恵央まちづくりの5委員会が設置されています。

開かれた市議会を実現するために、定例会、臨時会、予算審査特別委員会、決算審査特別委員会及び各常任委員会の会議録がホームページで公開されています。また市役所ロビーでは審議内容のライブ中継が行われ、インターネットでもライブ中継及び過去映像を配信しています。

## Building a Garden City Filled with Flowers & Green Spaces

Eniwa City lies about halfway between Sapporo and New Chitose Airport with great transportation access, abundant water resources, and excellent convenience surrounded by lush nature. The city's population was over 70,000 in 2019. It is one of the few municipalities in Hokkaido that is growing and remains full of possibilities despite the declining population in our broader society.

Because of its geographical advantages and excellent environment, the city's industries are steadily developing. Our newly created industrial park was soon filled with companies.

Eniwa is known for its abundant nature. Wild salmon run up the Izari River each year, Eniwa Valley is a popular tourist attraction, and we are known as a "Flower Town" due to our residents' active participation in gardening and the production of flower seedlings.

The Flower Town Project continues to expand and develop every year. We have received many awards including a "Urban Landscape Award" and a "Green Cities Award". The name "Flower Town Eniwa" has achieved national recognition. All of these approaches have led to Eniwa being selected as the host for Garden Festa Hokkaido 2022, the main venue of which is "Hanafuru," a key location for flowers in Eniwa.

Our Garden City is shaped by its excellent living conditions and residents, who bring vitality and energy to Eniwa through different kinds of community and civic activities, including activities associated with flowers.

Hosting Garden Festa Hokkaido 2022 represents both the success of the Flower Town Eniwa project and a prologue to the future. We consider it to be the starting place for new developments as we create a better and more comfortable living environment, and we are determined to press on.

This Eniwa City Overview introduces our comfortable city with its attractions along with the objectives of our comprehensive plan. I hope it will help you learn more about Eniwa and find opportunities to interact with our beautiful city.

Mayoe Harada Yutaka